

深イ〜話!

No.7

このお話は、月刊誌「致知」の中で、掲載されていた記事です。
生涯を小中学生の教育にささげた東井義雄先生がお話された内容です。

ある高校で夏休みに水泳大会が開かれた。

種目にクラス対抗リレーがあり、各クラスから選ばれた代表が出場した。

その中に小児マヒで足が不自由なA子さんの姿があった。

からかい半分で選ばれたのである。

だが、A子さんはクラス代表の役を降りず、水泳大会に出場し、懸命に自分のコースを泳いだ。その泳ぎ方がぎこちないと、プールサイドの生徒たちは笑い、野次った。

その時、背広姿のままプールに飛び込んだ人がいた。

校長先生である。



校長先生は懸命に泳ぐA子さんのそばで、「頑張れ」「頑張れ」と声援を送った。

その姿にいつしか、生徒たちもしゆくぜん肅然となった。

よく人生とは、人とのえん縁だといわれています。誰と出逢ったか・・・

A子さんにとっても、野次った生徒たちにとっても、そして教師にとっても、この校長先生との縁は、とても尊いものだったと思います。